

学籍番号 氏名

完全気体（モル定容比熱 $C_{v,m}$ ）1 mol を温度 T_1 、圧力 P_1 から等温で P_2 まで膨張させ（Step 1）次に断熱的に T_2 まで膨張させ（Step 2）続いて等温圧縮（Step 3）断熱圧縮（Step 4）で元の状態に戻した場合のことを考えよう。（このようなサイクルのことをカルノーサイクルという。）

Step 1 は等温過程であり、内部エネルギー変化 $\Delta U = 0$ 、エンタルピー変化 $\Delta H = 0$ である。従って $\Delta U = q + w$ より $q = -w$ となる。これより、 $w = -\int PdV$ を解くことで $q = RT_1 \ln(P_1 / P_2)$ が得られる。

Step 2 は断熱過程であるから $q = 0$ である。また U は T のみに依存することを考えて $\Delta U = C_v(T_2 - T_1)$ であり、これと $q = 0$ から $w = C_v(T_2 - T_1)$ が求められる。

Step 3 では Step 1 と同様に $\Delta U = 0$, $\Delta H = 0$ であり, また熱量を計算すると $q = RT_2 \ln(P_2 / P_1)$ が得られる。Step 4 は Step 2 の逆過程であり, $\Delta U = C_v(T_1 - T_2)$, $w = C_v(T_1 - T_2)$ となる。

従って、このサイクル全体で系のした仕事 $-w_{\text{total}}$ は $-w_{\text{total}} = R(T_1 - T_2) \ln(P_1 / P_2)$ 、系が高温熱源から奪った熱は $q_{\text{step } 1} = RT_1 \ln(P_1 / P_2)$ となり、この系の効率 ε は $\varepsilon = (T_1 - T_2) / T_1$ となる。

解答欄